

(参考) IASB/FASB の財務諸表表示プロジェクトの概況

経緯

IASB では 2001 年の発足当初から検討テーマとしていたが、2004 年から FASB との共同プロジェクトとなっている。以下の 3 つのフェーズに分けられている。

フェーズ A： IAS 第 1 号と SFAS 第 130 号の短期コンバージェンス

2007 年 9 月に IAS 第 1 号の改訂の公表により終了

包括利益を持分変動計算書で表示する方式を廃止し、包括利益計算書（一計算書方式または二計算書方式）で表示

フェーズ B： 財務諸表の表示に関する本格的検討

2008 年前半に Discussion Paper の公表を予定

フェーズ C： 中間財務諸表の表示の検討（未着手）

フェーズ B の暫定合意の要点

1. 一体性の原則に基づく基本財務諸表の様式

企業の財務的な全体像を一体的に表示することを基本原則として、基本財務諸表を以下のような様式とする。

財政状態計算書	包括利益計算書	キャッシュ・フロー計算書
事業 (Business) 営業資産及び負債 投資資産及び負債	事業 (Business) 営業収益 投資収益	事業 (Business) 営業キャッシュ・フロー 投資キャッシュ・フロー
廃止事業	廃止事業	廃止事業
財務 (Financing) 財務資産 財務負債	財務 (Financing) 財務収益 財務費用	財務 (Financing) 財務資産キャッシュ・フロー 財務負債キャッシュ・フロー
法人所得税 (Income Taxes)	法人所得税 (Income Taxes)	法人所得税 (Income Taxes)
所有者持分 (Equity)	所有者持分変動計算書	所有者持分 (Equity)

事業セクション：

経営者が当該企業による継続事業の活動の一部と見るすべての資産・負債が含まれる。

営業カテゴリー： 経営者が主要な事業活動の一部と見ており、かつ、当該事業に係る財務活動と関連しない資産・負債。

投資カテゴリー： 当該企業の事業に係る財務活動と関連せず、かつ、経営者が当該企業の主要な事業活動の一部ではないと見ている資産・負債

財務セクション：

(財)財務会計基準機構の Web サイトに掲載した情報は、著作権法及び国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律並びに条約によって保護されています。許可なく複写・転載等を行うことはこれらの法律により禁じられています。

経営者が当該企業の事業に係る財務活動の一部と見る金融資産及び金融負債が含まれる。

２．包括利益計算書の様式

一計算書方式を前提に検討が行われており、長期的には、その他の包括利益（OCI）項目の表示およびリサイクリングを廃止することが考えられている。ただし、認識および測定の問題は本プロジェクトの範囲外であるため、OCI 項目の存否は、関連する基準書を見直す他のプロジェクトにおいて個別に検討することとされている。このため、包括利益計算書の様式について、OCI 項目の廃止を前提とした様式案とともに、OCI 項目の存在を前提とした当面の取扱案が検討されている。

Discussion Paper では次の４つの代替案が提示される予定である（代替案１と２が「当面の取扱い」、３と４が長期的見解）。

代替案１： 「営業」・「投資」・「財務」の中で OCI を区分

代替案２： OCI を独立のセクション（「事業」・「財務」と同格）として表示

代替案３： 二欄式で“Other market related changes”を区分

代替案４： OCI 項目およびリサイクリングを全面的に廃止

現行の表示方法に近いのは代替案２であるが、現時点の暫定合意では、法人所得税を他のセクションに配分しないこととしているため、代替案２を採用した場合でも、OCI 項目は税引前で表示されることになり、現行の当期純利益は表示されないこととなる。